

平成 19 年 5 月 30 日

## 「拡大ワーキンググループ」と「新分類案」の基本的考え

NPO 法人山の ECHO

### 〔 1 〕 問題・課題

1. 処理方式名を検討 設置者にとって選択しやすい処理方式名

技術的見地、ユーザー見地 条件別にする <参考>設置条件別（長野県）

2. 専門的視点から危惧する点の明記 利用者の留意点
3. 技術の適用範囲を示す

### 〔 2 〕 拡大ワーキングと新分類での手順

1. 山の ECHO が原案作成し、WG での検討を踏まえ新分類基本案をつくる
2. <新分類・基本案>を検討員に打診
3. <新分類・基本案>のたたき台をつくる。検討員に送付
4. <新分類・基本案>のたたき台を拡大ワーキングで発表
5. 新分類をベースに、環境省、委員、企業、自治体等で討議

### 〔 3 〕 拡大ワーキングの目的、内容

1. 「モデル事業」の新体制づくりの場とする
2. 「モデル事業」のあり方（目的、成果、具体的インセンティブ）の討議、まとめ
3. 「モデル事業」の告知・広報（企業へ、自治体へ）
4. 「事業」の定着化、具体的な体制づくり
5. 今後のスケジュールづくり

## 拡大ワーキンググループ会合（案）

### 1．目的

「山岳トイレ技術分野」の内容、成果、実証後の効果など本事業の説明、およびトイレ整備やメンテナンス方法など、現状の問題・課題等について意見交換し、実証事業および試験結果がより効果的なものになるよう討議することを目的とする。

また、山岳トイレし尿処理方式の新分類方法に関して発表する。

### 2．出席者

検討委員（専門家） 地方行政（区市町村）担当者、 山小屋、 その他（山岳団体など利用者）

### 3．開催概要

（1）日 程：11月頃

（2）時 間：半日程度

（4）参加者：各分野に呼びかけ計30人～40人

### 4．プログラム

13：00 開会とあいさつ

13：10 〔説明〕モデル事業の概要説明と調査業務のフロー

13：50 〔事例報告1〕実証機関と実証申請者（実施企業）

14：10 〔コメントと質疑〕検討委員、山小屋、地方公共団体 ほか

14：30 〔事例報告2〕実証機関と実証申請者（実施企業）

14：50 〔コメントと質疑〕検討委員、山小屋、地方公共団体 ほか

15：10 休憩

15：20 〔新方針案〕（テーマ毎）についての討議

16：10 休憩

16：20 〔全体意見交換〕

17：00 終了

### 5．アウトプット

（1）〔モデル事業〕の関係機関、民間等への周知

（2）モデル事業の実施自治体、企業の獲得

（3）山岳トイレ技術の新分類の発表、周知

（4）〔モデル事業〕が〔事業〕へと転換されるにあたって方向性の確認

## し尿処理技術の分類（案）

	分類	基本処理
1	生物処理	接触ばっ気型カキ殻ろ床処理
2		接触ばっ気型木質チップろ床処理
3		接触ばっ気型膜分離処理
4		接触ばっ気型土壌処理
5		嫌気性消化型土壌処理
6		木質チップ攪拌処理
7	物理処理	乾燥・焼却処理
8	物理化学処理	凝集沈殿処理
9	その他	